

2023-24年度

大宮西ロータリークラブ戦略計画

ビジョン

多くの機会をつくり、多くの人と繋がり、更なる奉仕の高みを目指そう

戦略目標①

より大きなインパクトをもたらす

インパクトのある奉仕活動により
ブランドイメージを向上させ
魅力ある団体であり続ける

戦略ポイント

- ・ポリオの根絶
- ・活動成果と測定能力の向上
- ・感動を共有できる新規事業の開発

3年目標

- ①地域ニーズに合った成果検証ができる
持続可能な新規事業の開発
- ②グローバルな視点に立った環境問題、
ポリオ根絶への取り組み
- ③事業で多くの参加者と交流しクラブの
ブランドイメージを向上させる
- ④国内外に新規友好クラブの提携を進め
合同奉仕活動も検討する

戦略目標②

参加者の基盤を広げる

ロータリーへの新しい経路を創出し
ロータリーの開放性とアピール力を高め
会員増強維持を図る

戦略ポイント

- ・夫々の能力経験と考え方を生かし包摂
- ・会員増強の新たな手法
- ・他団体等クラブ外への働きかけ

3年目標

- ①全てのメンバーが会員増強に関わり
会員数150名、女性会員20名を達成
- ②クラブ内外に強固で多様なネットワー
クを構築し、新しい参加経路を創出
- ③ロータリーを理解し内外の他者へ発信
- ④IACの強化と、RACの再開を検討
- ⑤家族、会社との親睦や交流を深めて、
参加者の基盤を広げ多様化する

戦略目標③

参加者の積極的なかかわりを促す

ロータリーの奉仕の理念を理解し
親睦と交流を深め
会員及び参加者の積極的な参加を促す

戦略ポイント

- ・会員出席率向上と参加者増加の手法
- ・新たな会員、参加者交流の方法
- ・新会員対応や会員研修手法の確立

3年目標

- ①会員、参加者相互の交流の場を増やし
ロータリーを楽しむ機会を増やす
- ②ロータリー理解を促す研修を各段階毎
に実施しリーダーの育成を図る
- ③世代を超えた人的、職業的繋がりを
促しクラブの人流を活発化する
- ④参加者中心のプログラムを開発し、
会員満足度も向上させる

戦略目標④

適応力を高める

リスクを恐れず、変化をもたらす
新しい視点や考え方を追求することで
クラブ強化と適応力を高める

戦略ポイント

- ・奉仕活動の成果の確認と見直し
- ・組織体制、運営面の強化と簡素化
- ・価値観を守りながら新時代へ適応

3年目標

- ①奉仕事業の成果を見極め、事業の改善
や継続、終結を判断
- ②体制の簡素化によりスムーズな運営
- ③新たな交流手段としてSNS,ZOOM等
効果的なITの手法を取り入れる
- ④会員規模にあった例会運営の工夫
- ⑤組織体制を見直し、60周年以降の
効果的な新体制の確立

年度年次目標

- ①利他の心を念頭に置いた事業構築
- ②奉仕の喜びと楽しみを感じられる事業の
実施と感動の共有
- ③世界ポリオデー等他団体との協催による
より大きな事業成果の獲得

- ①活動PRの推進によるクラブ周知強化と
会員のクラブへの誇りと愛着醸成
- ②新会員10名増強（純増5名以上）
- ③IACの方向性見直しと、RAC新設に
よる、将来的な参加者基盤の礎の構築

- ①利他の心を念頭に置いたクラブ運営
- ②ロータリーを理解し、奉仕の質を高める
例会や研修の実施
- ③心が深く通い合い、よりロータリーを楽
しめる交流の実施

- ①組織の新体制の実行
- ②クラブ細則の変更考察実施
- ③次期戦略計画考案実施
- ④年度内新規奉仕事業の成果検証